


(26)目かくし列車ゲーム

実施形態	指導必須		自然体験・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協働性	リフレッシュ・体力
提出書類	指導依頼用紙 ※「自然体験活動ゲーム（複数可）」として1枚						
必要経費	指導員1人につき5,000円 ※活動時間に応じて、複数のゲームの組み合わせも可能 ※指導員1人に対し、最低6名、最大12名		★★	★★		★★	
概要 (セールスポイント)	このゲームでは、協力することの大切さを学び、グループの結束力を強めます。 目かくしをして行う活動で、みんなで決めたルールや全身の感覚を使い、参加者がお互いに頼り合い協力し合って、ゴールを目指します。						
諸条件	場所	キャンプ場	対象	低学年以上			
	所用時間	1.5時間程度	人数	30人程度まで (1グループ8人程度まで)			
	時期	通年	天候	晴天時			
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物			
	<ul style="list-style-type: none"> 途中の通過ポイントの目印（番号札等） ※番号札を取り付ける間隔は、5m～8m スタートとゴールの目印（コーン） ※ゴール地点を決めたら、スタート地点から通過する順番を示した番号札を立ち木に取り付けておく。 ゼッケン 【留意事項】 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境への配慮→草花、樹を大切にす。 実地調査による安全性の確認 ※危険な植物・昆虫・動物等 			【参加者】 <ul style="list-style-type: none"> 運動に適した服装 目かくし用のタオル（人数分） 運動靴 ・ 帽子 ・ 軍手 ・ 水筒 等 【指導者】 <ul style="list-style-type: none"> 参加者に準じた服装等を準備 救急用品 携帯電話 ・ 笛 等 			
活動内容 (手順)	所用時間	項目	内容				備考
	15分 ～30分	準備・事前指導 安全指導	① 引率者と指導員との打合せ ② 道具の受け取り ③ 事前説明				班編成、役割、配慮が必要な参加者等を共有
	60分	活動	① 一番後ろの案内役は、人の「ことば」を話すことができないので、いろいろな合図（生まれ、まっすぐ進め、左に曲がれなど）をグループで話し合っ決めて。 ② 全員が一列になって前の人の両肩に手を置き、列車のようにつながる。 ※ 一番後ろの人以外は目かくしをする。 ③ 一番後ろの人は列車の案内役になり、適切な指示を与えながら通過ポイントまで仲間を動かす。 ④ 先頭の人が番号札の付いた立ち木に触れて通過ポイントに着いたら、案内役を交代する。 ※ できるだけ全員が案内役になれるようにする。 ⑤ すべての通過ポイントをへて、ゴールしたら終わる。				「ことば」以外の合図を決める際に、話し合う時間を十分確保する。 活動中、急がず、ゆっくり歩くことを徹底させ、足元に十分注意するよう意識させる。
	10分	後片付け	① 活動場所の清掃 ② 道具の返却				